情報処理学会東北支部研究講演会（秋田大学）報告

〇日時：2026 年 11 月９日（月）10 時 30 分～12 時

〇主催：情報処理学会東北支部

〇共催：秋田大学大学院理工学研究科，秋田大学情報データ科学部，秋田大学大学院先進ヘルスケア工学院

〇場所：秋田大学手形キャンパス総合研究棟 1 階講義室

〇講師：山上 円佳氏
日本アイ･ビー･エム株式会社　研究開発 Think Lab
アドバイザリー・エクスペリエンス・コンサルタント

〇演題： 10 年後の「当たり前」は，もう始まっている　～コンピューティングの進化と私たちが拓く未来～

〇概要：
　コンピューターの誕生から AI，そして量子コンピューターへとコンピューティングの進化は，これまで何度も私たちの「できること」を広げ，社会の姿を変えてきた。
　本講演では，上記技術の転換点に関わり続けてきた IBM だからこそ語れるコンピューティングの歴史を振り返りながら，AI がいま私たちの可能性をどのように広げているのか，そしてこの先のコンピューティングの進化によって，私たちはどのような未来を切り拓こうとしているのかについて紹介がなされた。
　また，未来をつくるためには，テクノロジーを使って，「何を実現したいのか」を考えることの重要性についても説明があった。
　以上のように，最新のコンピューティングの活用事例とともに，人の思いを実現するテクノロジーやサービスの展開についても理解することができ，参加者にとって非常に有意義な講演であった。

〇参加者：約９０名

〇報告者：景山陽一（秋田大学情報データ科学部）